

圓教寺藏『随心如意輪經』(『随心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼經』)  
 翻刻と解題——澄憲『如意輪講式』と書写山——

柴 佳世乃

書写山圓教寺(天台宗、姫路市)に、『随心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼經』なる經典が現存している。近世初期の版経であるが、これが依拠した元本の刊行には、南北朝期に書写山および都の内外で活躍した心空<sup>①</sup>(一三一九〜一四〇一)が関わったことが識語より知られる。『大正新脩大藏經』ほかの主要な大藏經には収められず、これまでほとんど知られることのなかった経である。おそらく日本撰述の偽経と考えられるが、興味深いことに本経は、澄憲(一一二六〜一二〇三)が『如意輪講式』を制作する際に依拠した經典なのである。

平安末期の天台僧澄憲は、安居院流唱導の祖として活躍し、多くの唱導文献を残している。その手に成る講式もいくつかが知られるが、現存する講式はごく僅かであり、そのうちの一本に『如意輪講式』<sup>②</sup>がある。諸本の精査、内容の検討から、『如意輪講式』は澄憲の作と見て間違いなく、奥書などによれば、如意輪信仰の厚かった平泉の藤原秀衡母が澄憲に講式制作を依頼したところ、澄憲は書写山に籠もって撰述したという<sup>③</sup>。中尊寺において、この『如意輪講式』を復元するプロジェクトが営まれ、二〇一六年と二〇一八年の両度にわたって復元法要が勤修された<sup>④</sup>。私もそのプロジェクトに関わり訓読や読解を行ったが、「経に云く」と經典を引用しているもの

の、依拠した経典が特定できない箇所が複数あった。また、式文中に「随心如意輪経」の名が一箇所見えるが、これに相当する経典も不明であった。復元作業の過程で、書写山圓教寺にて近年復刻された本経典が手元にあったのを思い起こし、対照させてみたところ、澄憲の引く「随心如意輪経」はまさしく本経であり、不明であった「経に云く」の典拠は、この経に求められることが判明した。

平安末期には存し、澄憲も用いた『随心如意輪経』。古代中世の如意輪観音信仰は、貴顕が尊崇するにもかかわらず不明なことが多い中で、本経典が現存していることの意味は大きい。さらに、本経が、他ならぬ書写山圓教寺に蔵されていることの意味はまた大きいだろう。澄憲が書写山に参籠して『如意輪講式』を制作したとの伝承とも符合することは、あるいは偶然ではあるまい。

本稿では、そのような本経の重要性に鑑み、概要と伝来、諸本に関する解題を付して翻刻紹介する。なお、正式名は『随心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼経』であるが、圓教寺本の尾題に「随心如意輪心経」とあるのも勘案しながら、澄憲が引用する経典名「随心如意輪経」に倣い、略称として『随心如意輪経』を用いた(以下、『随心如意輪経』)。

### 【解題】

本経には、管見の限り、二本の伝本が現存している。一本は、書写山ゆかりの心空が関わるもので、もう一本は嘉慶二年(一三八八)に法隆寺に収められたというものである(身延山大学図書館蔵本、後述)。まずは、底本として紹介する書写山本について詳しく述べる。



本經典は、書写山周辺にて、少なくとも二回復刻刊行されている。まず近年の復刻版として、平成八年（一九九六）に、圓教寺一四〇世長吏大樹孝啓師が一三八世長吏大樹承算師（一八九六―一九八〇、孝啓師の父）の七回忌に寄せて、承算師が所持していた経本を復刻したものである。私はこの復刻経本に導かれて、本経の存在を知った。そして今一つは、その原本の近世前期刊本（すなわち承算師所持本）である。平成八年版を遡ること三百年余り、元禄七年（一六九四）正月十八日に書写山東麓の如意輪寺実胤によって復刻刊行されたものである。なお現時点においては、圓教寺には、元禄七年刊本の元になった経本の所蔵は確認できない。

平成八年版の末尾に、大樹孝啓師による復刻した際の解説文が載せられている。復刻の経緯がよく知られるので、全文を掲げることとする。

応永五年（一三九八）九月廿日、御廟堂開山性空上人の御像の前で、院宣、將軍足利義満御教書が開読され、この日より書寫山圓教寺は、女人登山停止となった。これを申請した人が善法寺住持慈伝（心空）上人であった。心空上人は姫路市妻鹿の人で、十四歳のとき書寫山圓教寺蓮華坊快運について出家得度、熱心に学問したが廿六歳のときには書寫山を離れて東国を行脚した。三十六歳のときに京都法勝寺恵鎮上人・慈威和尚に師事した。公家・武家諸寺の諸門跡との交際も深く、明徳元年（一三九〇）仙洞にて法華経を談義したときには、多くの明匠、山門・寺門・東寺等の門跡もあつまった。青蓮院尊道親王、妙法院堯仁親王、梶井の明承親王、特に聖護院覚増親王から非常な敬信をうけた。晩年七十二歳のときに書寫山にもどり昔修行した蓮華坊に居住した。圓教寺記には開山性空上人の再来と記される。

この本は山麓東坂本女人堂（如意輪寺）の實胤が復刻したもので、第三百三十八世長吏承算が伝え残したも

のが当寺では唯一とされ、これが手元にあるということは大きな使命を負わされたのも同然であり、先徳が連綿と伝えてきたものを途絶えさせてしまう責任は重い。性空上人開基以来一千余年の歴史を見れば、いつの時代も修理の連続であった。昭和に入っても平成まで続けられた山上の大規模建造物の修理を終えたこの年、奇しくも高祖天台智者大師一千四百年遠忌、重ねて第百三十八世長吏の十七回忌にあたるこの年に、御仏の加護、先徳への想い深く、書寫山「平成大法要」を記念して改めて限定二百部を復刻し、有縁の方々に配布した。

平成八年四月廿七日

書寫山圓教寺第百四十世長吏

大樹孝啓

右の解説にあるように、承算師所持の経本には、南北朝期の書写山ゆかりの僧心空が関わったことが記されている。その奥書は以下の通りである。

本云、応永第八（辛巳）正月十八日、且仰本尊大悲之誓願、且任若樹若石之聖言、請一山大衆淨財、命工刊板、安置書写山如意輪堂。伏乞伽藍常住 仏日増光 法宝恒鎮 繼燭不斷 大衆和合 住四安樂 修一乘行得淨諸根 一生之中 入妙覺位而已

善法住持沙門心空謹誌

此経湮没年尚矣。偶得心空上人之印本、謹書写之以鏤梓。伏冀令法久住、流传此経、人人会円通性海、个个得如意宝珠。維時元禄第七（甲戌）載孟春十八日

播陽書写山東麓如意輪寺住持夷胤敬誌

(後掲翻刻311〜323行目。私に句読点を付した)

これによれば心空は、本尊如意輪観音への信仰と仏法興隆存続の願を掲げ、経本を刊行して如意輪堂に安置したという。心空は応永八年(一四〇一)閏正月六日に亡くなっているので、本経を刊行してひと月も経たないうちに没したことになる。時を経て近世初期に、書写山東坂本の如意輪寺(書写山女人堂とも号し、女人登山停止となった後の山麓の参拝中核を担った)の住持であった実胤が、「湮没」すなわち跡形もなく消え埋もれていた本経をこの心空本によって見出し、復刻したという。応永八年正月十八日の版に合わせて、実胤は同月同日の正月十八日に復刻を為している(十八日は観音の縁日にあたる)。ちなみに播州の書肆という「春曙堂」については現在のところ不明である。実に二百九十三年を経て甦った経本であるが、およそ三百年ごとに再発見され価値が見出されて現在に伝わっているのは感慨深い。

なお、如意輪寺そのものにも、経本の一本が所蔵されていると推測される。西川實英師(当時如意輪寺住職)によって心空の事績がまとめられた文章<sup>5)</sup>に、以下のような記載がある。

隨心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼経

(隨心如意輪心経) 如意輪寺蔵

本経は四千八百八十三字で綴られている。因に法華経普門品は二千九十一字である。その跋文に：(以下略) 心空に関わる跋文と如意輪寺実胤の識語を掲載する)

ここには如意輪寺蔵の『隨心如意輪経』が紹介されており、経末の一紙のみ写真が掲載されている。圓教寺蔵

圓教寺蔵『隨心如意輪経』(隨心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼経)翻刻と解题——澄憲『如意輪講式』と書写山——

本と一見同じ文字・体裁ながら、よく見ると句切り点の付された位置が微妙に異なっている。同経であるものの板刻が異なると推測され（いずれかが後刻本か）、書写山周辺で複数回刊行された可能性を示すものである。現在のところ掲載写真一葉からしかわからず、詳しい調査検討は後日を期したい。

さて、本経の流布や伝来、享受の様相はほとんどわからないが、冒頭に述べたように、澄憲が講式述作の際に、「随心如意輪経」と經典名を挙げて引用し、よく知られた『仏説觀自在菩薩如意心陀羅尼經』『七星如意輪秘密要經』などと並べてこの『随心如意輪経』を複数箇所にわたって引用している事実は、本経が少なくとも平安末期には存在していたことを示すものである。澄憲が経名を掲げて引用する一箇所を紹介しておこう。

准スルニ随心如意輪経ニ云、是レ能雨ク於無量財宝ヲ如意宝珠也。速ク得ル世間一切財ヲ故文。

（『如意輪講式』第六「如意福德門」。引用は大覚寺蔵本による。傍線は引用者）  
当の『随心如意輪経』には、以下のような経文が存する。

是能雨於無量財宝。如意宝珠。一切衆生。誦是咒者。速得世財故。是能出生。

（後掲翻刻63～64行目）

「随心如意輪経に准ずるに云く」とするのは、そのまま原文通りの引用ではなく、後半は取意による多少の改変があること（該当経文に点線を付した）を意味していようか。いずれにしても、澄憲が本経に拠っていることは確かであり、この他にも、經典名は示さないものの、本経に依拠した引用が『如意輪講式』全体に見出せる。

『如意輪講式』は全七段にわたり、如意輪観音の世界とその功德を細微にわたって説くもので、経文引用にも周到的な考慮が為されている。澄憲による極上の文章で綴られた本講式は、如意輪信仰の全体を余すことなく伝え

るものである。『如意輪講式』の諸本（鎌倉期写本）のいくつかには、澄憲が撰述の依頼を受けて二七日（十四日間）書写山に籠もって作成したとの伝承が載せられている。大覚寺本によれば、以下の通りである。

交本云、

本云、依陸奥秀衡之母請、延曆寺澄憲僧都所作也。或人云、秀衡之母、年来此如意輪觀音を恭敬供養ス。此式をいか、してか、せんと思ふところに、澄憲僧都を聞之て、金一馬を贖勞して誂之。其時、澄憲、籠書寫山、二七日之間致精誠書之云々。

（大覚寺藏『如意輪講式』（鎌倉写）の奥書）

『如意輪講式』は、書写山圓教寺にも伝わっており（二本が現存する）、平安末期の書写山を取り巻く状況を考えあわせると、澄憲が参籠して作成したとの由緒は単なる伝承とのみ切り捨てられない。

さらにここに、澄憲が依拠した『随心如意輪經』そのものが書写山圓教寺に伝わっていることが明らかになった。本經は、如意輪觀音の誓願や功德を説くもので、コンパクトながら如意輪觀音の世界を知らしめる興味深い經典である。想像を逞しくすれば、開山性空上人（九一〇〜一〇〇七）が感得して彫らせたという生木の如意輪觀音像に端を発する、如意輪信仰さかんな書写山の周辺が生成に関わるのかもしれない。

さて、別本について紹介しておく。嘉慶二年（一三八八）の識語（版経識語）を有する身延山大学図書館蔵本である。書誌は以下の通りである。

内題「随心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼經」、尾題「随心如意輪心經」。

外題「如意輪陀羅尼經」（朱書）。もと版経・卷子本（一軸）を折本（経本）に仕立てたもの。外題はその折

(おそらく明治期)に付されたか。

縦二十四・八糎、横十・四糎(現在の折本の幅)。

版経識語「嘉慶第二戊辰歲 秋冬雨節刻彫之／奉納法隆寺問寺 摸写流布利群生」。

伝来に関する奥書「明治十五年八月廿一日 弘道求之／法隆寺本町山 峰氏ニテ(以上墨書)／維時明治三十年三月十九日従和上受之 弘然経藏(以上朱書)」

全体に墨書で訓点、読み仮名が書き込まれているが、明治期に付されたものであろう。版経そのものは中世に遡ると見てよからう。文字句や行取りは、圓教寺藏近世版経とほぼ同じであるが、一部行取りが異なったり、用字が数字異なったりするところがある。嘉慶二年とはまさに心空の時代に重なり、心空本を想定させるものだが、両者の関係は不明であり、法隆寺に奉納されたという点で伝来が異なるようである。いずれにしても、現存最古の当該経本であり、書写山にのみ伝来したのではなく、それ以外に伝わった本が現に残されていることは重要である。

ところで、『随心如意輪經』の伝来は、澄憲周辺や書写山あるいは法隆寺のみにとどまるものではなかったようである。中世の書物の中に本経を引いている例が僅かながら見出せるのである。

『白宝抄』<sup>9)</sup>(弘安三年(一一八〇)、澄円撰)に、次のようにある。

○随心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼經云。爾時会有大菩薩名施無畏大悲莊嚴者如意輪観自在菩薩<sup>一)</sup>。大悲薰身福智円満百福莊嚴<sup>セリ</sup>。位居等覚文。

(如意輪観音法 上)

(經の撰り)

○隨心如意宝珠轉輪秘密觀自在菩薩根本陀羅尼 注云。我現ス六臂莊嚴體ヲ。大悲誓願深如海。經劫テ無量阿僧祇。悲愛衆生如一子。今世後世能施樂ヲ。三世諸仏慈悲水。皆融皆円皆凝湛。悉入我独大悲海。大悲三昧思惟手。難キ度シ衆生ヲ能ク度相也。大悲三昧按山手。八風不動利他相ナリ。大悲三昧蓮華手。能示衆生ノ不染相也。大悲三昧如意手。願求衆生能滿相。大悲三昧金輪手。能轉法輪滅罪相。大悲三昧數珠手。三途衆生離苦相。

(如意輪觀音法 上)

○隨心如意宝珠轉輪秘密觀自在菩薩根本タラ尼經云。若誦如意宝珠大神咒者。身体在穢國ニ。心神ハ遊樂。諸仏刹土文。

又云。若欲修此法ヲ者ハ昼夜常不息。若誦百八返<sup>(10)</sup>。現身ニ必得見。觀自在菩薩莊嚴色身ヲ一文。

又云。是咒ハ諸物持タラ尼ノ中。最為第一無有コト余明咒ノ。与此大如意宝珠滿願王咒<sup>ヒトシテ</sup>等者。若有テ衆生。於未來世。誦持此咒者。以ノ本願故。我来テ其人前ニ。随所望ノ意ニ。令滿一切。無量大願ヲ。若少若多。

不トイ果遂其悉地者。不得名ヲ為コトヲ如意宝珠大秘密咒ト一文。

又云。名為如意摩尼宝珠隨願 (一字悉願) □ 宝大根本秘密咒文。

又云。若三千大千世界中。一切衆生得聞是タラ尼者。無量劫中。所化罪障。一時断壞更無遺余文。

又云。是タラニハ三世仏母ナリ。一切諸仏。從是生故。是妙法ノ藏也。一切法門。皆歸此咒故文。

(如意輪觀音法 下)

右の三箇所(計八箇所)にわたって「隨心如意宝珠轉輪秘密觀自在菩薩根本陀羅尼經」の經名を引きつつ、經

文引用がなされている。いずれも『隨心如意輪經』中の經文であり、一箇所目は後掲翻刻の26行目から28行目、二箇所目は182行目から191行目に合致する。さらに三箇所目は、まとめていくつかの部分を用用する。順に示せば、293行目から294行目、250行目から252行目、118行目から123行目、39行目から40行目、45行目から47行目、51行目から53行目の五箇所にわたり、それぞれそのまま引用している（若干の文字の異なりが存するが書写による誤りと見なし得る）。

（ここから明らかになることは、澄円（ないし天台記家と呼ばれる学僧の集団）の近くには、この經が確かに存し、参照されていたという事実である。『白宝抄』は澄憲の時代からは降るものだが、澄憲の時代から南北朝期までを繋ぐ貴重な一資料である。そしておそらく、それらは偶々点在しているのではなく、学僧たちの往還の中で、ごく限られた人脈において伝播していったものと推測されるのである。そこに書写山という場が関係している可能性も大いにあるだろう。

\*

本經の經文は、經そのものがほとんど流布しなかったにもかかわらず、澄憲の『如意輪講式』を通じて伝播享受されていくこととなる。澄憲による具体的な經文引用の実態や伝播享受の様相については別稿に論ずることとし、まずはその資料的価値に鑑み、『隨心如意宝珠転輪秘密觀自在菩薩根本陀羅尼經』を書写山圓教寺藏本により紹介することとする。



- (1) 心空については、柴佳世乃「伏見宮と法華経談義―心空・鎮増との関わりに及んで―」（松岡心平編『看聞日記と中世文化』森話社、二〇〇九年）に論じたことがある。
- (2) 佐々木邦世が平泉と関わる重要な講式として紹介し、翻刻・訓読がなされている（佐々木邦世「よみがえる」信の風光―秀衡の母請託『如意輪講式』を読む―中尊寺仏教文化研究所『論集』創刊号、一九九七年五月）。
- (3) 柴「澄憲と『如意輪講式』―その資料的価値への展望―」（小峯和明監修・シリーズ「日本文学の展望を拓く」第五巻『資料学の現在』笠間書院、二〇一七年）、柴「澄憲と講式―『如意輪講式』を起点として―」（『仏教文学』四四号、二〇一九年四月）ほかに論じた。
- (4) 中尊寺本堂において、二〇一六年六月二六日に三門復元法要が、二〇一八年九月三〇日に全七門復元法要が―山をあげて勤修された（導師・山田俊和貫首）。中尊寺「如意輪講式」法要パンフレット、中尊寺『関山』二二二号（如意輪講式）特集号、二〇一七年二月）に経緯と概要が詳しい。
- (5) 西川實英師「心空上人と鎮増国師」（如意輪寺による平成十年（一九九八）の心空版『妙法蓮華経』復刻本に付された解説文。もとは平成三年度『天台兵庫』二二二号に掲載された文章という）。本資料については大樹玄承師に教示を賜った。
- (6) 「経云」とするものの、ほとんどの場合、経典名は明記されていない。
- (7) 柴「書写山圓教寺蔵『如意輪講式』解題と翻刻」（千葉大学『人文研究』四六号、二〇一七年三月）。
- (8) 本経本の存在については、伊藤聡氏の示唆を得た。身延山大学図書館通信『たんぼ』平成十九年夏号に掲載された「貴重書紹介『如意輪陀羅尼経』」の記事について教示を受け、これが『随心如意輪経』であることの判明につながった。

- (9) 『大正新修大藏経 图像部』第十卷所収。なお、『大正藏』では調点が省略されているが、底本である叡山文庫所蔵 毘沙門堂蔵本（澄円の識語有り、享保十年書写）を閲覧参照して、毘沙門堂本によって翻刻した。
- (10) 「百八」は、経文には「八百」（翻刻251行目）とある。

【書誌】

内題「随心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼経」。外題なし。尾題「随心如意輪心経」。

折本（経本）。紺色表紙。三十三折。法量 紙高 二十三・五糎、一折幅 八・五糎。料紙 楮紙（雲英入り）。

近世前期刊（元禄七年（一六九四）正月十八日、書写山東麓の如意輪寺実胤の復刻刊行、書肆は播州の春曙堂）。

末尾に「大樹承算」の墨印あり（圓教寺百三十八世承算師の所持本）。

○平成八年（一九九六）の復刻版の書誌は、以下の通り。

内題「随心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本陀羅尼経」。外題「如意宝珠根本陀羅尼経」（題簽）。尾題「随心如意輪心経」。

折本（経本）。朱・金の布張り表紙。四十一折。法量 紙高 二十六・四糎、一折幅 八・八糎。料紙 黄麻紙。

圓教寺百四十世大樹孝啓師による復刻（原本を若干拡大しているので、経本の大きさ、一紙あたりの行数などの体裁は異なるが、文字・行取りなどは原本のまま）。経帙あり（外題「如意宝珠根本陀羅尼経」（題簽））。外題は経本・経帙ともに、復刻時に新たに付されたもの。

\*翻刻は、以下のような方針で行った。

一、原則として、通行の字体を用いた。

一、行取りは底本通りとし、行頭に、冒頭からの行数を示した。

一、句切り点は、底本通りに付した。

一、二行分かち書きは、へで示した。

\*翻刻の後に、底本影印および参考となる身延山大学図書館蔵本の写真を掲げた。

## 付記

書写山圓教寺には、貴重な資料の閲覧と紹介をお許しいただきました。圓教寺執事長大樹玄承師には、資料閲覧の便宜をはかっていただいたのみならず、有益な教示を多々賜りました。また身延山大学図書館にも、貴重な資料の閲覧と紹介をご許可いただきました。深謝申し上げます。

本稿は、科学研究費補助金（挑戦的研究・萌芽〔1718478〕）による研究成果の一部である。

## 【翻刻】

1 随心如意宝珠転輪秘密観自在菩薩根本

陀羅尼経

如是我聞。一時薄伽梵。住伽栗斯山中。与大

- 菩薩。声聞緣覺。天龍夜叉。乾闥婆。阿修羅。迦  
5 樓羅。緊那羅。摩睺羅伽。人非人等俱。皆是無  
不。大法王子。大智舍利弗。而為上首。有無量  
大声聞衆。觀自在菩薩。而為上首。有八万大  
菩薩等。梵王帝釈。而為上首。有無量三界天  
人。沙竭羅龍王。而為上首。有百千恒河沙。諸  
10 大龍王。僧慎爾耶葉叉神。而為上首。有無量  
無辺。大葉叉神。諸根清淨乾闥婆王。而為上  
首。有千万那由他。乾闥婆衆。廣大妙弁阿修  
羅王。而為上首。有千万億阿修羅衆。如意宝  
光迦樓羅王。而為上首。有恒河沙。迦樓羅衆。  
15 悦意樂音緊那羅王。而為上首。有那庾他。緊  
那羅衆。遊戲神通摩睺羅王。而為上首。有九  
万八千摩睺羅衆。轉輪聖王。而為上首。有無  
量那由他。千子眷属。波斯匿王。而為上首。有  
百千那由他。諸大国王。殊勝妙顔夫人。而為  
20 上首。有無量夫人。路伽耶治外道。而為上首。

有無數大外道衆。毘盧陀伽大鬼。而為上首。  
有恒河沙等。大鬼神王。金色師子王。而為上首。  
有無量禽獸諸王。如是等。無量大衆。以無量百千万億。種種伎樂。讚歎如來。恭敬合掌。  
遶仏百千匝。各頂礼仏足。退座一面

25  
爾時会中。有大菩薩。名施無畏。大悲莊嚴者。如意輪觀自在菩薩。大悲熏身。福智円満。百福莊嚴。位居等覺。金容如満月。過優曇華。以福智業。利益一切。大光照十方。歴劫阿僧祇於。生死海。作大船師。常説甘露法。令諸衆生入解脫門。於三大阿僧祇劫。為度衆生故。勤修八万四千波羅蜜。三世劫中。成等正覺。過去久遠。證妙覺位。名曰正法明如來。現在賢劫。登等覺位。正觀自在菩薩是也。未來際劫。無量寿仏。滅度之後。亦是菩薩。次其当成。無上世尊。名曰普光功德山王。応正等覺。因円果満。住寿凝然。觀世音菩薩。即從座起。徧徃

30  
35

右肩。合掌向仏。而作是言。世尊我有大陀羅尼。神妙章句。世間所希有。名為廣大。如意摩尼宝珠。隨願雨宝。大根本秘密咒。唯願如來

聽許我說。當演說之。仏告觀自在菩薩言。善哉善哉。汝為一切衆生。欲說此陀羅尼。拔出

生死苦。願汝隨意。當說此咒。觀自在菩薩。白仏言。善哉世尊。赦我所說。我今為一切。百千衆生。當說此陀羅尼。秘密章句。所以者何。若

三千大千世界中。一切衆生。得聞是陀羅尼者。無量劫中。所犯罪障。一時斷壞。更無遺余。何況一劫。乃至半劫。千生十生。乃至一生。十年五年。乃至一年。十月五月。乃至一月。十日五日。乃至一日。其中所作。少分罪障。此等消滅。猶如劫火。焚燒少斤。世尊是陀羅尼。三世

仏母。一切諸仏。從是生故。是妙法藏。一切法門。皆歸此咒故。是十方諸仏。最勝秘密藏。一切諸仏。所有功德。皆撰此咒故。是一切菩薩

55 趣大菩提。真實正道。無量菩薩。從是密路。至

究竟故。是三世諸仏。自受法樂。微妙寶宮。無  
量如來。住是陀羅尼門。受法樂故。是一切凡

夫。入如來地。頓悟法門。無量衆生。得聞是咒。  
頓證無上。大菩提故。是饒益一切有情。無尽

60 寶庫。無量衆生。誦是咒者。速得無量。微妙珍

財故。是能引諸。一切有情。詣菩提樹下。自然  
導師。一切衆生。誦是咒者。早詣道樹下。成正

覺故。是能雨於無量財寶。如意寶珠。一切衆  
生。誦是咒者。速得世財故。是能出生。一切功

65 德。根本德海。無量衆生。誦是咒者。早顯無量

功德相好故。是能斷絶。一切世間。惡業毛繩。  
大智利劍。無量衆生。誦是咒者。速離三毒故。

是能施与。一切所求。無上寶藏。無量衆生。誦  
是咒者。早滿足無量。所望悉地故。是能超度。

70 生死大海。自在船師。無量衆生。誦是咒者。速  
乘無上。大悲船筏故。是能生長。一切善根。大

良福田。無量衆生。誦是咒者。早植無上。菩提種故。是能照見。生死長夜。大智燈炬。無量衆生。誦是咒者。速照煩惱。無明黑闇故。是能破滅。一切魔軍。金剛甲冑。無量衆生。誦是咒者。早速降伏。大力四魔兵衆故。是諸仏所轉。無上法輪。諸仏以此咒。說大法故。是陀羅尼。如大師子王。勝諸明咒故。是陀羅尼。如大聖主。束諸摠持故。世尊是陀羅尼。其性空相。不生不滅。無來無去。不一不異。非斷非常。本無生

80

處。亦非遠離。非不遠離。世尊。如是如是。如意大宝珠王。秘密神咒。皆是離四句百非。其体平等。譬如如意宝珠。非有宝。非無宝。而雨一切。無量珍宝。是陀羅尼。亦復如是。離有宝無

85

宝。雖無色身相好。形貌長短。而為受持者。自然雨於。無量妙財。与無辺樂。觀自在菩薩。作是語已。即說廣大。如意宝珠王。恒雨妙宝。無

上神咒曰



娜謨囉怛娜ナモアラタシナ。怛囉夜也タシラヤヤ。娜謨阿利耶ナモアリヤ。二合縛ニハフ。  
 囉呾帝ロキテイ。湿縛羅シハラ。引イン。耶ヤ。菩提薩怛縛耶ホチサタハヤ。摩訶薩マカサ。  
 怛縛タハ。二合引ニハイン。耶ヤ。摩訶迦マカキヤ。引イン。囉拏迦耶ロニキヤ。怛姪他タニヤタ。  
シヤキヤラハリチ。震踰摩拏シシタマニ。摩訶鉢頭迷マカハントメイ。囉ロ。  
 斫迦囉波哩底シシタマニ。震踰摩拏シシタマニ。摩訶鉢頭迷マカハントメイ。囉ロ。  
 底瑟吒チシツタ。入縛羅シハラ。阿迦囉灑耶アキヤラシヤ。咩發吒ウンハツタ。莎縛賀ソハカ。

復說大心咒曰

唵オン。鉢頭摩ハントマ。震多摩尼シシタマニ。湿縛羅咩シハラウシ。

復說隨心咒曰

唵縛羅陀鉢頭迷咩オンハラタハントメイウシ。

說此陀羅尼時。十方仏土。六種振動。三千大

千世界中。一切所有。天宮。龍宮。夜叉宮。乾闥

婆宮。阿修羅宮。迦樓羅宮。緊那羅宮。羅喉羅

迦宮。皆悉動搖。各生惶怖。倒頂躡地。発叫喚

声。地獄餓鬼。畜生住処及余無暇。惡趣衆生。

皆離極重。根本逆罪。入無為清淨。大宝樓閣。

四大四州。無量中州。一切小国。其中衆生。皆

得宿命智。自然果樂。欲界色界。無色界。梵王

帝釈。無量諸天。飛行自在。受勝妙樂。猶如仏土。須弥山。持双山。持軸山。擔木山。善見山。馬耳山。毘那怛迦山。尼民達羅山。雪山。香山。一切諸山。振裂動搖。如水泡溺。強力大風。其中所有。一切有情。捨是身已。生於天上。受妙果樂。外海内海。江河川流。無量大海。一切水流。皆悉涌沒。如鑊涌沸。無量諸国邑。王宮聚落。皆悉無不振動

115 爾時觀自在菩薩。白仏言世尊。我於過去。無  
迦大劫中。歷事諸仏所。希有受持此陀羅尼。

增長一切。淨妙白法。增長無量功德樹王。根  
莖枝葉華果等。增長一切。世間出世間。無量  
功德。世尊是咒。諸摠持陀羅尼中。最為第一  
無有余明咒。与此大如意宝珠。滿願王。咒等  
者。若有衆生。於未來世。誦持此咒者。以本願  
故。我来其人前。隨所望意。令滿一切。無量大  
願。若少若多。不果遂其悉地者。不得名為。如

120

意宝珠。大秘密咒。或有善男子善女人。誦持是陀羅尼者。墮在生死。不到真如者。我不得名為。如意宝輪。施無畏者。爾時觀自在菩薩。憐愍衆生。覆護誦持咒者。而說偈言

專心誦持如意咒 我速令離大火難

專心誦持如意咒 我速令離大水難

專心誦持如意咒 我速令離大風難

130 專心誦持如意咒 我速令離刀杖難

專心誦持如意咒 我速令離枷鎖難

專心誦持如意咒 我速令離惡賊難

專心誦持如意咒 我速令離惡鬼難

專心誦持如意咒 我速令離橫死難

135 專心誦持如意咒 我速令離万病難

專心誦持如意咒 我速令產福智男

專心誦持如意咒 我速令生端正女

專心誦持如意咒 我速令得妙七珍

專心誦持如意咒 我速令得妙衣服

140 专心誦持如意咒 我速令得衆味食

专心誦持如意咒 我速令得象馬車

专心誦持如意咒 我速令得諸眷属

专心誦持如意咒 我速令得世樂具

专心誦持如意咒 我速令得高貴相

145 专心誦持如意咒 我速令得端嚴相

专心誦持如意咒 我速令得富饒相

专心誦持如意咒 我速令得愛敬相

专心誦持如意咒 我速令得除万難

150 专心誦持如意咒 我速令得名聞相

专心誦持如意咒 我速令得弁才相

专心誦持如意咒 我速令得音声相

专心誦持如意咒 我速令愛国王心

专心誦持如意咒 我速令愛貴女心

专心誦持如意咒 我速令相善夫妻

155 专心誦持如意咒 我速令尊一切人

专心誦持如意咒 我速令獲使大神

專心誦持如意咒  
我速令獲離咒詛

專心誦持如意咒  
我速令斷三毒根

專心誦持如意咒  
我速令斷無間業

160 專心誦持如意咒  
我速令斷三途苦

專心誦持如意咒  
我速令生国王家

專心誦持如意咒  
我速令登聖王位

專心誦持如意咒  
我速令得飛虛空

專心誦持如意咒  
我速令得動須弥

165 專心誦持如意咒  
我速令得竭大海

專心誦持如意咒  
我速令得振大地

專心誦持如意咒  
我速令得返流水

專心誦持如意咒  
我速令登妙覺位

專心誦持如意咒  
我速令證法性身

170 專心誦持如意咒  
我速令得和光身

專心誦持如意咒  
我速令弁諸法理

專心誦持如意咒  
我速令乘般若船

專心誦持如意咒  
我速令登涅槃山

175 專心誦持如意咒 我速令人無為殿  
專心誦持如意咒 我速令遊諸仏刹

專心誦持如意咒 我速令遇慈尊会  
專心誦持如意咒 我速令見金色身  
專心誦持如意咒 我速令見諸菩薩  
專心誦持如意咒 我速令見弥陀仏  
180 專心誦持如意咒 我速令見諸仏身  
專心誦持如意咒 我速令生天上宮

我現六臂莊嚴体 大悲誓願深如海  
經劫無量阿僧祇 悲愛衆生如一子  
今世後世能施楽 三世諸仏慈悲水  
185 皆融皆円皆凝湛 悉入我独大悲海  
大悲三昧思惟手 難度衆生能度相  
大悲三昧按山手 八風不動利他相  
大悲三昧蓮華手 能示衆生不染相  
大悲三昧如意手 願求衆生能滿相  
190 大悲三昧金輪手 能転法輪滅罪相

大悲三昧數珠手 三途衆生離苦相

若我誓願大悲中 一人不成二世願

我墮虛妄罪過中 不還本覺捨大悲

復世尊。我於十方世界。在在處處。示現種種

195 形。利益諸衆生。令得大勝利。為仏境者。現妙

覺形。為菩薩境者。現等覺形。為支仏境者。現

緣覺形。為声聞境者。現声聞形。為梵王境者。

現梵王形。為帝釈境者。現釈提形。為自在天

境者。現自在天形。為大自在天境者。現大自

200 在天形。為天大將軍境者。現天大將軍形。為

多聞天境者。現毘沙門形。為小王境者。現諸

小王形。為長者境者。現長者形。為居士境者

現居士形。為宰官境者。現宰官形。為婆羅門

境者。現婆羅門形。為四部境者。現四部形。為

205 婦女境者。現婦女形。為童男童女境者。現童

男童女形。為八部境者。現八部形。為大力士

境者。現大力士形。為地獄鬼畜生境者。現其

210 類形。現如是等。種種異形。為衆生說法。我從無量。恒河沙劫已來。得普現色身三昧。隨諸衆生。施無量藥。世尊。若有衆生。欲持是咒者。

先念我本師。無量壽仏復次誦誦。是陀羅尼。然後称念。我名号者。早得無量。福德智慧。世尊。復又善男子善女人。有誦持是陀羅尼者。

我遣無量。十地菩薩。梵釈四王。及執金剛神。

215 天龍夜叉。乾闥婆。阿修羅。迦楼羅。緊那羅。摩

睺羅伽。人非人等。大力護世者。常守護是人

令無憂患。爾時觀自在菩薩。説護者名曰

我請自在王菩薩 藥王藥上妙吉祥

大力無量菩薩衆 常令守護誦持者

220 我召梵釈自在天 大那羅延吉祥天

大力無量諸天衆 常令守護誦持者

我召沙竭大龍王 大威德龍強力龍

大力無量龍王衆 常令守護誦持者

我召師子王夜叉 妙那羅延夜叉神



225

大力無量夜叉衆

常令守護誦持者

我召淨根乾闥婆

愛樂大乘乾闥婆

大力無量婆王衆

常令守護誦持者

我召妙弁阿修羅

大堅固力阿修羅

大力無量修羅衆

常令守護誦持者

230

我召淨目迦樓羅

如意宝光迦樓羅

大力無量迦樓羅

常令守護誦持者

我召悅意緊那羅

受持妙法緊那羅

大力無量緊那羅

常令守護誦持者

我召神通摩睺羅

大威德摩睺羅王

235

大力無量摩睺羅

常令守護誦持者

我召世智大外道

路伽耶治外道王

大力無量外道衆

常令守護誦持者

我召毘舍闍大鬼

毘盧陀伽大鬼王

大力無量鬼王衆

常令守護誦持者

240

我召金翅大鳥王

命命鳥王鸚鵡鳥

大力無量大鳥衆

常令守護誦持者

我召琰羅大魔王 大羅刹衆種種類

大力無量魔王衆 常令守護誦持者

是諸菩薩。及梵王帝釈。四大天王。無量善神。

245 常隨守護。誦持如意宝輪。陀羅尼者。猶如奴

婢。驅使大家。圍繞其人。如衆星繞月。觀自在

菩薩。告大衆言。若有善男子善女人。於末世

中。誦持是陀羅尼時。不隔淨与穢。亦不有借

淨衣。及以齋戒。又不扞日月吉凶。但口誦誦。

250 心念不怠。如前所説。功德成就。若欲修是法

者。晝夜常不息。若誦。八百徧。現身必得見。觀

自在菩薩。莊嚴色身。誦滿十千徧。見於金剛薩

埵真身。一切明咒。自然成就。誦一万三千徧。

得見一切。諸仏如来。七日誦是咒。仙王真身。

255 現在於前。以諸明咒。施与安樂。一切所求。七

日之中。無不成就。每日後夜。誦三千遍。帝釈

天王。及諸天女来下。与授福德。根本神咒。大

心咒。随心咒。各誦一千八徧。然後手取。藥白

牛王。塗觀自在菩薩足。并塗眼中。所有眼病。

260 無不除差。二徧塗之。頭病口病。悉得除愈。三

徧塗之一切鬼魅。及以癩狂。皆得除滅。四徧

塗之。一切毘那夜迦。悉皆退散。五徧塗之。一

切怨家。速降伏。至第六遍。一切罪障。悉得除

滅。乃至七日。一切男女。貴賤道俗。皆悉隨伏。

265 至二七日。得大自在。至三七日。一切国央。散

位。自然從隨伏。至四七日。一切夜叉男夜叉

女。皆悉隨伏。至五七日。羅刹男羅刹女。悉皆

隨伏。至六七日。得幻術。現種種身。至七七日。

摩訶迦羅。諸鬼神母。皆悉隨伏。乃至二十一

270 七日。或見隱形者。或見諸伏藏。或入諸窟宅

門。或服諸仙藥。或見大仙身。或見觀音身。或

得騰虛空。或見諸仏刹土。并仏身。滿一年際。

塗秘密藥。五眼清淨。与衆生共。如前諸說。皆

悉具足。世尊。如是如是。無量衆生。仏滅度後。

275 於末世中。受持是咒。如法修行。常誦念。不生

懈怠者。我与無量寿仏。勢至。普賢。文殊大聖。及以無量大仙衆。俱來其所。摩頂守護。不離

前後。哀愍覆護。猶如一子。其人以仏力。及神

咒力。於凡夫身。每日晨朝。入諸三昧。遊無量

280 仏土。供養諸仏。入無量穢土。利益含識。或入

功德。首楞嚴三昧。成就一切。如來智地。得無

生法忍於諸仏法。而得自在或入師子光明

三昧。得登一切。大智山頂。摧伏愚學。令諸衆

生。達生死源。或入諸仏国。入智三昧。見於諸

285 仏。微妙淨土。嚴飾宝色。或入清淨。意樂三昧。

遠離三業。罪障垢染。受諸法樂。或入無憂大

明三昧。離生死憂愁。受淨妙樂。或入神通遊

樂三昧。遊於他方仏土。見無量善事。或入金

剛光明三昧。一切国土。鉄圍山。大鉄圍山。須

290 弥山。一切諸山。皆現身中。或入智力。降伏三

昧。伏滅無量大魔衆。身心遊樂。無有怖畏。如

是等。諸大三昧。依誦如意宝珠。陀羅尼故。所

成就也。若誦如意宝珠。大神咒者。身体在穢

国。心神遊樂。諸仏刹土。世尊。若少我所說。有

295 虚妄過者。終不遂果。大悲誓願。假使有人。得

大飛行。尽虚空界。大悲誓願。不究其際。假使

蚊虻。以微少口。吸竭大海。大悲誓願。不測源

底。假使螻蟻。以弱少力。荷負須弥。大悲誓願。

三世不動。假使仏眼。墮落大地。無量億劫。不

300 還本覺。大悲誓願。不墮兩舌。世尊。我於無量

曠劫。說悲願廣大。不尽其際。是故今日。但略

說耳

爾時世尊。告觀自在菩薩言。善哉汝為利益

衆生。於閻浮提。流传此法。但樂誦持。是神咒

305 者。成就功德。如汝所說。觀自在菩薩。白仏言

世尊。我以是大陀羅尼神咒。利益一切衆生。

令滿一切。無辺大願。是故衆生。应当禮拜。受

持誦誦。勿生疑惑。爾時會中。無量菩薩。梵王

帝釈。一切大衆。禮拜讚歎信受奉行

310 隨心如意輪心經

本云応永第八（辛巳）正月十八日且仰本尊大悲

之誓願且任若樹若石之聖言請一山大

衆淨財命工刊板安置書写山如意輪堂

伏乞伽藍常住仏日增光法宝恒鎮繼燭

315 不斷大衆和合住四安樂修一乘行得淨

諸根一生之中入妙覺位而已

善法住持沙門心空謹誌

此經湮没年尚矣偶得心空上人之印本

謹書写之以鏤梓伏冀 令法久住流伝

320 此經人人会円通性海個個得如意宝珠

維時元禄第七（甲戌）載孟春十八日

播陽書写山東麓如意輪寺住持実胤敬誌

書肆 播州 春曙堂 板



表紙

隨心如意寶珠輪轉秘密觀自在菩薩根本  
 陀羅尼經  
 如是我聞一時薄伽梵住伽栗斯山中與大  
 菩薩眾聞緣覺天龍夜叉乾闥婆阿脩羅迦  
 樓羅緊那羅摩睺羅伽人非人等俱皆是無  
 不大法王子大智舍利弗而為上首有無量  
 大聲聞眾觀自在菩薩而為上首有八萬大  
 菩薩等梵王帝釋而為上首有無量三界天  
 人沙羯羅龍王而為上首有百千恒河沙諸  
 大龍王僧慎爾耶藥叉神而為上首有無量  
 無邊大藥叉神諸提洹乾闥婆主而為上  
 首有十萬那由化境闍婆眾廣主妙辨阿脩  
 羅王而為上首有千萬億阿脩羅眾如意寶  
 光迦樓羅王而為上首有恒河沙迦樓羅眾  
 悅意樂音緊那羅王而為上首有那由他緊  
 那羅眾迦樓羅神迦摩羅王而為上首有九  
 萬八千摩睺羅眾轉輪聖王而為上首有無  
 量那由他千子眷屬波斯匿王而為上首有  
 百十那由他諸大國王殊勝妙顏夫人而為  
 上首有無量夫人路伽事治外道而為上首  
 有無數外道眾毗盧陀伽大鬼而為上首  
 有恒河沙等大鬼神王金色師子王而為上  
 首有無量會眾諸王如是等無量大眾以無  
 量百千萬億種種毀讚讚歎如來恭敬合掌  
 禮佛百千更各頂禮佛足退坐一而

爾時會中有大菩薩名施無畏大悲莊嚴者  
 如意輪觀自在菩薩大悲熏身福智圓滿白  
 福莊嚴位居等覺空如滿月過覺學華以  
 福智業利益一切大光顯十方華劫阿僧祇  
 於生死薄作大船師常說甘露法令諸眾生  
 入解脫門於三大阿僧祇劫為度眾生故勤  
 修八萬四千波羅蜜二世劫中成等正覺過  
 去又復證妙覺位名曰正法明如來現在賢  
 劫發等覺位正觀自在菩薩是也未來降劫  
 無量壽佛滅度之後亦是菩薩矣其常無無  
 上世尊名曰普光功德山王應正等覺因  
 果滿住壽變然觀世音菩薩即從座起備祖  
 右肩合掌向佛而作是言世尊我有大龍羅  
 尼神妙章句世間所希有名為廣大如意摩  
 尼寶珠隨願雨寶大根本秘密咒唯願如來  
 聽許我親當演說之佛告觀自在菩薩言善  
 哉善哉汝為一切眾生欲說此陀羅尼取出  
 生死苦願汝隨意當說此咒觀自在菩薩曰  
 佛言善哉世尊教我親說我今為一切百十  
 眾生當說是陀羅尼秘密章句所以何者  
 三十六世界中一切眾生得聞是陀羅尼  
 者無量劫中所犯罪障一時斷壞更無過餘  
 何況一劫乃至半劫千生十生乃至一生十  
 年五年乃至一年十月五月乃至一月十日  
 五日乃至一日其中所作少分罪障此等消  
 滅猶如劫火焚燒少片世尊是陀羅尼三世  
 佛母一切諸佛從是生故是妙法藏一切法  
 門皆歸此咒故是十方諸佛最勝秘密藏一  
 切諸佛所有功德皆攝此咒故是一切菩薩  
 趣大菩提真實正道無量菩薩從是密路至

2

究竟故是三世諸佛自變法樂微妙寶無  
 量如來住是陀羅尼門受法樂故是一切凡  
 夫八如來地頓悟法門無量眾生得聞是咒  
 頓證無上天菩提故是佛蓋一切有情無盡  
 寶庫無量眾生是咒者速得無量微妙珍  
 財故是能引諸一切有情諸菩提樹下自然  
 導師一切眾生是咒者早詣道樹下成正  
 覺故是能雨於無量財寶如意寶珠一切眾  
 生是咒者速得世財故是能出生一切功  
 德根本德海無量眾生是咒者早顯無量  
 功德相好故是能斷絕一切世間惡業毛龜  
 大智利劍無量眾生是咒者速離三毒故  
 是能施與一切所求無上寶藏無量眾生  
 是咒者早滿足無量所望悉地故是能超度  
 生死大海自在船師無量眾生是咒者速  
 乘無上大悲船筏故是能生長一切善根大  
 畏福田無量眾生是咒者早植無上菩提  
 種故是能照見生死長夜大智燈炬無量眾  
 生是咒者速照熾明黑闇故是能破  
 滅一切魔軍金剛甲冑無量眾生是咒者  
 早速降伏大力四魔無量故是諸佛所轉無  
 上法輪諸佛以此咒說大法故是陀羅尼如  
 大師子王勝諸明咒故是陀羅尼如大聖主  
 東諸摠持世尊是陀羅尼其性空相不生  
 不滅無來無去不一不異非斷非常本無生  
 亦非速轉非不速轉世尊如是如是如意  
 大寶珠王秘密神咒皆是離四句百非其體  
 平等譬如如意寶珠非有實非無實而兩一  
 切無量珍寶是陀羅尼亦復如是離有實無  
 實離無色身相好形貌長短而為受持者自

3







男童女形爲八部堵者現八部形爲大力士  
堵者現大力士形爲地獄鬼畜生堵者現其  
類形現如是等種種異形爲衆生說法我從  
無量恒河沙劫已來得專現身三昧隨諸  
衆生施無量樂世尊若有衆生欲持是咒者  
我念我本師無量壽佛復次讀誦是陀羅尼  
然後稱念我名号者得無量福德智慧世  
算復又善男子善女人有誦持是陀羅尼者  
我造無量十地菩薩梵釋四王及執金剛神  
天龍夜叉乾闥婆阿脩羅迦樓羅緊那羅摩  
睺羅伽人非人等大力護世者常守護是  
令無憂慮爾時觀自在菩薩說護者名曰  
我請自在王菩薩 藥王藥上妙吉祥  
大力無量菩薩衆 常令守護誦持者  
（大那羅延吉祥天 常令守護誦持者  
大力無量諸天衆 常令守護誦持者  
我召沙場大龍王 大威德龍強力龍  
大力無量龍王衆 常令守護誦持者  
我召師子王夜叉 妙那羅延夜叉神  
大力無量夜叉衆 常令守護誦持者  
我召淨報華鬘衆 愛樂大乘鬘鬘衆  
大力無量珠王衆 常令守護誦持者  
我召妙辨阿脩羅 大堅固力阿脩羅  
大力無量脩羅衆 常令守護誦持者  
我召淨目迦樓羅 如意寶光迦樓羅  
大力無量迦樓羅 常令守護誦持者  
我召悅意緊那羅 受持妙法緊那羅  
大力無量緊那衆 常令守護誦持者  
我召神通摩睺羅 大威德摩睺羅王  
大力無量摩睺羅 常令守護誦持者

8

我召世智大外道 路伽耶治外道王  
大力無量外道衆 常令守護誦持者  
我召毗舍闍大鬼 毗盧陀伽大鬼王  
大力無量鬼王衆 常令守護誦持者  
我召金翅大鷲王 命命鳥王鷲鷲鳥  
大力無量大鳥衆 常令守護誦持者  
我召炎羅大魔王 大羅剎衆種種類  
大力無量魔王衆 常令守護誦持者  
常隨守護誦持如意寶輪陀羅尼者猶如奴  
婢驅使大家圍繞其人如衆星繞月觀自在  
菩薩告大衆言若有善男子善女人於未世  
中誦持是陀羅尼者不隔障與我亦不有借  
淨衣及以齋戒又不擇日月吉內但口讀誦  
心念不息如前所說功德成就若欲借是法  
者晝夜常不怠若爾八百徧現身必得見觀  
自在菩薩莊嚴色身滿十指於金剛薩  
埵真身一切明咒自然成就滿一萬三千徧  
得見一切諸佛如來七日誦是咒仙王真衆  
現在於前以諸明咒施與安樂一切所求七  
日之中無不成就每日後夜誦三千遍常釋  
天王及諸天女來下與授福德根本神咒大  
心咒隨心咒各滿一千八徧然後手取勝王  
牛王塗觀自在菩薩足并塗眼中所有眼病  
無不除愈二徧塗之頭額口病悉除除瘡三  
遍塗之一切鬼魅及以藥毒皆得除滅四徧  
塗之一切毗那夜迦毒皆退散五徧塗之一  
切怨家連降伏至第六遍一切罪障悉得除  
滅乃至七日一切男女貴賤道俗悉隨伏  
至二十七日得大自在至三十七日一切國象敬

9

圓教寺藏「隨心如意輪經」(隨心如意寶珠轉輪秘密觀自在菩薩根本陀羅尼經)翻刻と解題——澄憲「如意輪講式」と書写山——

位自然從隨伏至四七日一切夜叉男夜叉女皆悉隨伏至五七日羅刹男羅刹女悉皆隨伏至六七日得幻術現種種身至七七日摩訶迦羅請見神母皆悉隨伏乃至二十一日或見隱形者或見諸伏藏或入諸窟宅門或顯諸仙藥或見大仙身或見觀音身或得騰虛空或見諸佛刹土非佛身滿一半際塗秘密藥五取淨與眾共生如前所說皆悉具足等如是如是無量眾生佛滅度後於末世中受持是咒如法修行常誦念不生懈怠者我與無量壽佛等至普賢文殊大聖及以無量六向眾俱來其所學頂字護不離前後長惡種種猶如一子其人以佛力及神咒力於凡大身每日晨朝入誦三昧遊無量佛土供養諸佛入無量劫土利益含識或入功德寶藏三昧成就一切如來智地得無生法為淨佛法而得自在或在入師子光明三昧得宜一切天智山頂摧伏惡學令諸眾生速生死源或入諸佛國入智三昧見於諸佛微妙淨土嚴飾寶色或入清淨意樂三昧遊離三業罪障淨法樂或入無憂大明三昧離生死憂愁受淨妙樂或入神通遊樂三昧遊於他方佛土見無量壽事或入金剛光明三昧一切國土鐵圍山大鐵圍山須彌山一切諸山皆現身中或入智力降伏三昧伏滅無量天魔眾身心遊樂無怖畏如是等諸三昧依誦如意寶珠陀羅尼證所成就也若誦如意寶珠大神咒者身雖在穢國心神遊樂諸佛刹土世尊若少我所說有虛妄過者終不違果大悲普願使有入得

大飛行盡虛空界大悲普願不究其際假使蚊蚋以微少口吸竭大海大悲普願不測深底假使蟻蟻以弱少力荷負須彌大悲普願三世不動假使佛眼墮落大地無量億劫不還本覺大悲普願不替兩古世尊我於無量曠劫說悲願廣大不盡其階是故今日但略說耳

爾時世尊告觀自在菩薩言善哉汝為利益眾生於闍浮提說此法但樂誦持是神咒者成就功德如汝所說觀自在菩薩白佛言世尊我以為大陀羅尼神咒利益一切眾生令滿一切無邊大願是故眾生應當禮拜受持讀誦勿生疑慮爾時會中無量壽隨咒王帝釋一切大眾禮拜讚歎信受奉行

隨心如意輪心經

去書 應永第八已正月十八日且仰本尊大悲之誓願且住若樹若石之聖言誦一山大乘津財命工刊板安置書寫山如意輪堂伏乞伽藍常住佛日增先法寶恒鎮繼燭不斷大眾和合住四安樂修一乘行得淨善稱一生之中入妙學位而已

善法住持沙門心空謹誌

此經湮沒尚矣倘得心空上人乞印本謹書寫之以鐫梓伏冀 令法久住流傳此經人人會同通性海個個得如意寶珠

維時元祿第七 甲辰歲孟春十八日

掃部書寫山東箱如意輪寺住持實胤敬誌

書肆 掃部春晴堂 坂

大樹涼海

世尊我以是大陀羅尼神咒利益一切眾生  
 今滿一切無邊大願是故眾生應當禮拜受  
 持讀誦勿生疑惑爾時會中無量菩薩魔王  
 帝釋一切大眾禮拜讚歎倍受奉行  
 隨心如意輪心經  
 本應未第八已正月十八日且仰本尊大悲  
 之誓願且依若樹若石之聖言請一山大  
 衆淨財命工刊板安置書寫山如意輪堂  
 伏乞伽藍常住佛日增光法寶但續繼燭  
 不斷大眾和合住四安樂修一乘行得淨  
 諸根一生之中入妙覺位而已  
 善法住持沙門心安謹誌  
 此經源遠其尚矣倘得心中入之印本  
 謹書寫之以續釋伏其 今法久住流傳  
 此經人人會通性海個個得如意寶珠  
 維時元祿第七甲辰歲孟春十八日  
 持陽書寫山真緒如意輪寺住持普胤教誌  
 書肆 播磨 春曙堂 板  
 大持遠齋

12



裏表紙

圓教寺藏『隨心如意輪經』(『隨心如意寶珠轉輪秘密觀自在菩薩根本陀羅尼經』)翻刻と解題——澄憲『如意輪講式』と書写山——

【参考】身延山大学図書館蔵本

隨心如寶珠轉輪觀自在菩薩根本陀羅尼經  
 如是我聞一時薄伽梵住伽栗斯山中與大  
 菩薩辯闍婆覺天龍夜叉乾闥婆阿耨羅迦  
 樓羅緊那羅摩睺羅伽人非人等俱皆是無  
 不大法王子大智舍利弗而為上首有無量  
 大眷聞眾觀自在菩薩而為上首有八方大  
 菩薩華光王帝釋而為上首有無量三累天  
 人沙竭羅龍王而為上首有百千恒河沙諸  
 大龍王僧憐舍耶摩叉神而為上首有無量  
 無邊大藥叉神諸根清淨乾闥婆王而為上  
 首有千方那由他乾闥婆眾摩訶娑羅阿耨  
 羅王而為上首有千方億阿耨羅眾如意寶  
 光迦樓羅王而為上首有恒河沙迦樓羅眾  
 悅意樂音緊那羅王而為上首有那由他緊  
 那羅眾遊戲神通摩睺羅王而為上首有九  
 方八十摩睺羅眾轉輪聖王而為上首有無  
 量那由他千萬眷屬波剌提王而為上首有  
 百千那由他諸大國王殊勝妙顏天人而為  
 上首有無量天人諸如那由他外道而為上首

卷頭

為利益眾生於闍浮提演轉此法但樂誦持  
 是神咒者成就功德如彼所說觀自在菩薩  
 白佛言世尊我知是大陀羅尼神咒利益一  
 切眾生令滿一切無邊大願是故眾生應當  
 禮拜受持讀誦勿生疑感今時會中無量菩  
 薩梵王帝釋一切大眾禮拜讚嘆受奉行  
 隨心如意輪心經

嘉慶第三戊辰歲 秋冬兩節刻取之  
 奉嗣法隆盛閣寺 撰寫流布利群生

明治十五年八月廿日 弘道光之  
 法隆寺本所 山崎六 印

繪時明治三十年五月十九日從和生受之  
弘經館藏

卷末